

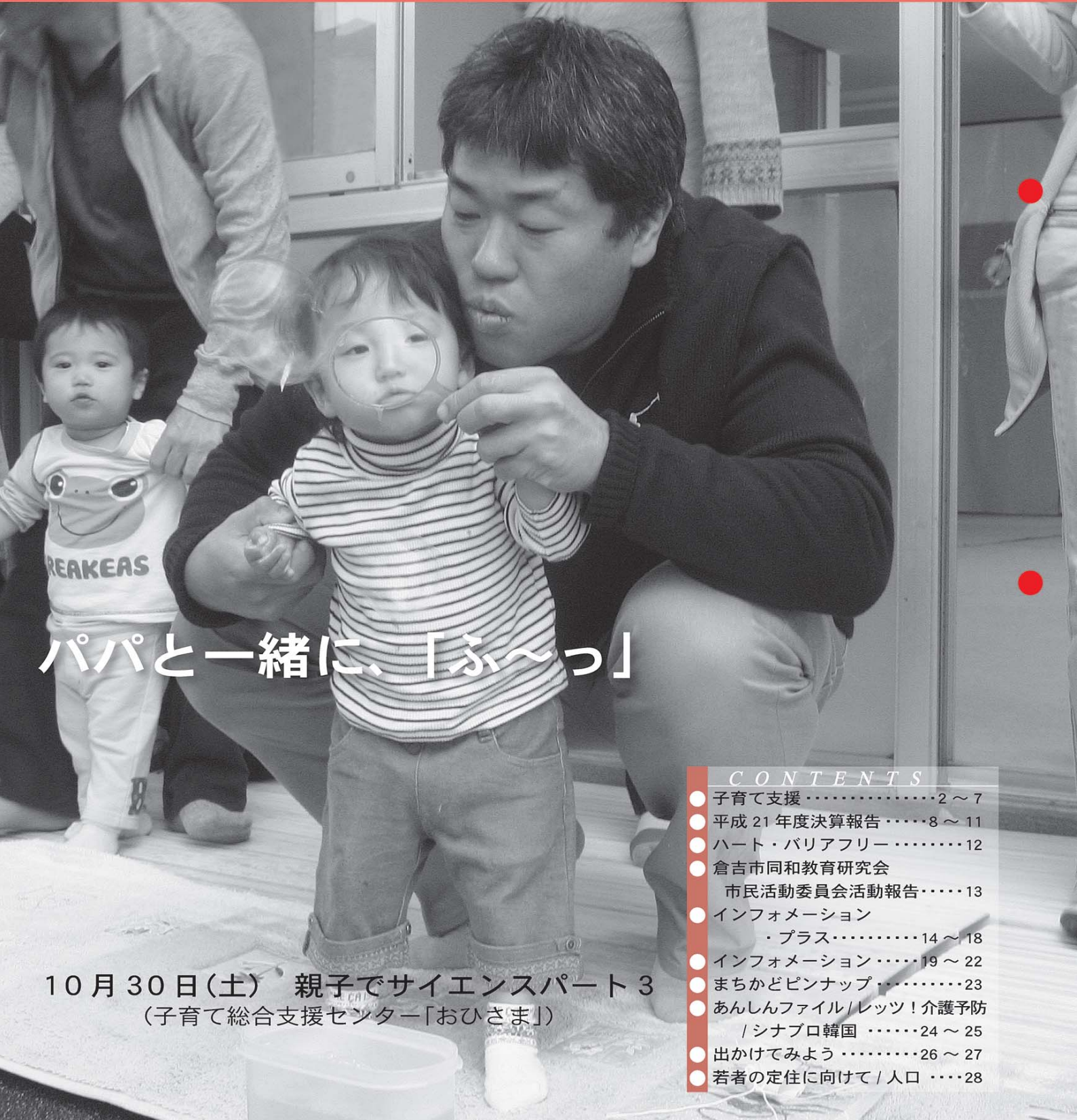
くらよし

December 12
2010

平成 22 年 12 月号

No.1390

今月の特集：「子育ては楽しい」と心から言えるまちをめざして



パパと一緒に、「ふ〜っ」

10月30日(土) 親子でサイエンスパート3
(子育て総合支援センター「おひさま」)

CONTENTS

- 子育て支援 2 ~ 7
- 平成 21 年度決算報告 8 ~ 11
- ハート・バリアフリー 12
- 倉吉市同和教育研究会
市民活動委員会活動報告 13
- インフォメーション
・ プラス 14 ~ 18
- インフォメーション 19 ~ 22
- まちかどピンナップ 23
- あんしんファイル/レッツ! 介護予防
/ シナプロ韓国 24 ~ 25
- 出かけてみよう 26 ~ 27
- 若者の定住に向けて / 人口 28

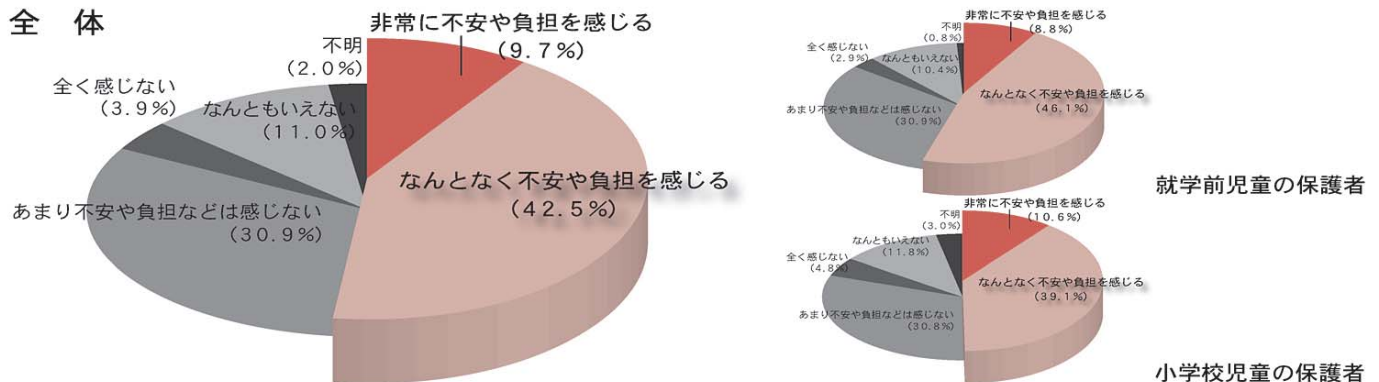


「子育ては楽しい」と心から言えるまちをめざして—

問 子ども家庭課 (☎ 22-8100 / FAX 22-7020)

— 子育てに、不安や負担を感じますか？

はい = 52.2%



— 子育ての不安や悩みをだれに相談しますか？

相談相手がいない = 8人 / 771人中

平成21年実施「倉吉市次世代育成支援行動計画(後期計画)策定ニーズ調査」より

今年のショッキングな事件の一つに、「大阪市・2幼児死体遺棄事件」があげられるのではないだろうか。

7月30日、大阪市西区のマンションで幼い男児と女児の2遺体が発見され、同日、行方がわからなくなっていた23歳の母親が、死体遺棄容疑で逮捕されました。8月には、殺人容疑でも再逮捕されています。

一人では、身の回りのことはおろか、逃げ出すこともできない幼い姉弟を、死ぬと分かっているながら、保護すべき母親が置き去りにした残酷さと、姉弟の死に至るまでの痛ましい状況が報道されるたびに、「なぜ救えなかったのか」という声が全国からあがりました。

この事件はかなり極端なネグレクト(育児放棄)の虐待事件といえます。

けれども、この母親と同じように、子育ての悩みを、だれにも相談できずに抱え込み、追い詰められていると感じる親は、身近にもいるのではないのでしょうか。

子どもの成長を見守るのは、今も昔も変わらず、親や地域、そして社会の役目です。しかし、近年、少子化や核家族化が進み、子育てを取り巻く環境は大きく変わり、問題も多様化しています。

私たちにできる「役目」は何か。もう一度見つめ直してみます。



11月12日(金)、赤ちゃんとお・中学生の交流「おひさまふれあい会」での1コマ。

久米中学校3年生のお兄さん、お姉さんに囲まれても人見知りせず、ニコニコと笑顔を見せていたごう君。

でも、やっぱりお母さんに抱っこされた時の笑顔が一番でした。

不安や悩みを抱えながら奮闘する親たち

倉吉市では、平成21年7月に「倉吉市次世代育成支援行動計画(後期計画)策定ニーズ調査」を実施しました(新生児から小学生児童の保護者のうち1,000人を抽出して実施。回答率77.1%)。

その中の「あなたは子育てに、不安や負担を感じますか」という質問に、「感じる」と回答した人は、403人。回答者全体の半数以上のほりました。

また、「子育ての不安や悩みを、だれに相談しますか」という問いには、配偶者をはじめとする親族や知人、友人という回答が多かったものの、「相談相手がいない」と答えた人もあり、私たちの周りにも、不安や悩み

を持ちながら、独りで奮闘しているお父さんやお母さんがいることがうかがえます。

「倉吉市でも核家族が多くなり、子育ての知恵が引き継がれにくくなっています。一方で、同居しているお母さんたちからも「家族から子育てのやり方を批判される」、「仕事もせず一日中子どもと家

にいると言われる」という声を聞きます。それが、家族に子どもを頼みにくいという気持ちを生んでしまう。逆に、親世代からも、言葉をかけにくいという話も耳にします。同居しているも家族間のつながりが希薄になり、子育てに対する孤立感が増加するとともに、「子どもとの関わり方が分からない」と相談してくる親が一番多くなっています(子ども家庭課)

左は、子育て支援センターを利用している親から寄せられた相談の一部です。内容は、子どもの育て方や発育・健康に関すること、人間関係など、まさに多種多様です。

子育ては、一人の人生を預かる大仕事だけに、不安や悩みがつきものです。たくさんの親が、毎日、大なり小なりの壁にぶつかりながらも真剣に向き合っているのが、よくわかります。

子育ての悩みや苦労は、外側からは、なかなか推し測ることができません。けれども、それらを抱えて、日々奮闘しているお父さんやお母さんは、私たちの身近に、確かにいるのです。まずはそれに気が付くことが大切です。

子育て支援センター利用者から寄せられた主な相談

- ・家の中に、自分と子どもだけで長い時間いると、どんなに子どもは可愛くても息が詰まってしまう。
- ・転勤で来たので、周囲に友だちがない。
- ・近くに子育てを手伝ってくれる人や、相談相手がいない。
- ・子どもが、夜、しっかり寝てくれない。
- ・子どもが、何をするのも「イヤイヤ」と言う。
- ・ほかの子どもとおもちゃの取り合いになったとき、どう対処しているのか。
- ・トイレトレーニングはいつ始めたらよいのか。
- ・離乳食はいつ始めたらよいのか。
- ・子どもが、偏食になる。離乳食を食べない。
- ・子どもが、食べ物を投げる。手づかみ食べをしてもよいか。
- ・子どもの言葉が遅れている。体重が軽い。
- ・歩行開始がほかの子どもより遅い。
- ・家族との関係(頑張っていることを認めてもらえないなど)



子ども家庭課
課長：塚根 智子
(子育て総合支援センター所長)



子育て総合支援センター「おひさま」での1コマ。子ども同士はもちろん、保護者も交流。和気あいあいとした温かい時間が流れます。

あなたを受け入れる準備は、 いつでもできています

ここでは、子育てに奮闘する親たちを支援するため、行政がどのような姿勢で、どんな事業を行っているのかを紹介します。

「あなたが大事」というメッセージを伝えたい

子ども家庭課の塚根智子課長は、子育ての現状について「子育ての不安や悩みを一人で抱え込んだり、上手く対処できないと、ストレスとなってしまうため込まれていきます。やがて、それが内に向くと「うつ状態」になり、外に向くと「虐待」になってしまいます。特別なことではなく、だれもがその危険性を持っています」と指摘します。さらに、「親は、子育てに追われて、外との接点が無くなったり、家事や仕事に追われて、気持ちにゆとりがなくなると、ますます内にこもって、追い詰められてしまいます。ですから、地域や行政が子育て中の親に、「よく頑張っている」、「あなたが大事」というメッセージを積極的に送る体制づくりが必要なのです」と、子育てを支援する仕組みの充実と、職場や社会の理解が不可欠なことを強調します。

親の孤立化を防げ

子育て支援で、最も重要なのは、「親を孤立させないこと」。倉吉市では、子育て中の親が、育児で悩んだとき、いつでも助

けを求めることができる子育ての「伴走者」や「応援団」をつくる取り組みを進めています。保健師や、保育士、それに地域の協力を得て、すべての親をサポートすることを目指しています。

保健センターや子育て支援センターなどが拠点になりますが、進んで助けを求めることができな人には、こちらから、保健師や保育士が出向くようにもしています。

また、子育て中の親が孤立することを防ぎ、子どものころから赤ちゃんとふれあう体験をするための、さまざまな事業を実施しています。

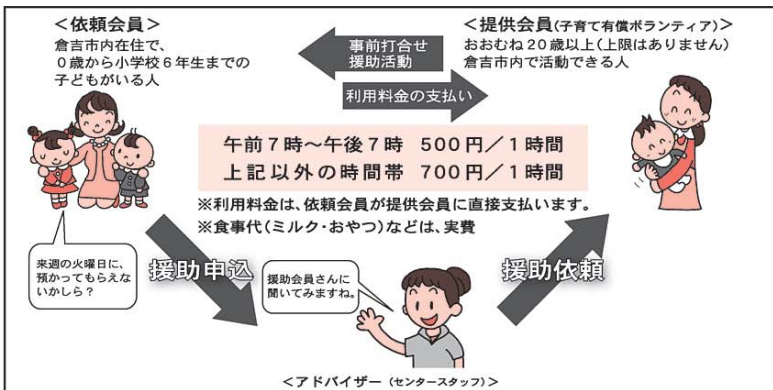
【主な事業】

- ・妊娠中の両親学級の一部を、子育て総合支援センターで実施し、先輩ママや赤ちゃんと交流を行う。
- ・赤ちゃんがいるすべての家庭を、保健師や保育士が訪問し、母親の話を聞いたり、子育てのアドバイスをします。
- ・親支援プログラムを使って、自分なりの子育ての方法を見つかったり、仲間づくりをするセミナーを開催。
- ・子育ての知識の学習や、音楽療法を取り入れた子育てセミナーを開催。
- ・乳幼児健診の会場に、子育て支援センターの職員が出向いて

て親子遊びのコーナーを設置。小学生や中学生と赤ちゃんの交流会を開催。

ファミリー・サポートセンターも始動

11月には、子育て中の親を、地域で支える子育て支援の会員組織「ファミリー・サポート・センター」も始動しました。「子育ての手伝いをして欲しい人」と「子育ての手伝いをした人」が登録して支え合うシステムです。子どもの一時預かりや送迎に利用できます。



◀ファミリー・サポート・センターのしくみ



▲赤ちゃんと中学生の交流会

子育て支援センターに出かけてみませんか？

子育て支援センターは、子育て中の家庭を応援するために開設されています。保育士への相談や、子どもを持つ人同士の会話、子ども同士の遊びをとおして、子育てで不安や育児疲れを解消するお手伝いをします。発育、食事、しつけ、友達や遊びのことなど、気になっていることはありませんか？子育てを一緒に学び、楽しむ場としてぜひ、お気軽にお出かけください。

倉吉市子育て総合支援センター「おひさま」

ところ：上灘160 (TEL/FAX 22-3914)
開所時間：火～土曜日 午前9時30分～正午
午後1時～4時

のびのび子育て支援センター

ところ：上井781-1 (倉吉東保育園内 TEL 26-3436 / FAX 26-9563)
開所時間：月～金曜日 午前9時～午後0時30分
午後1時30分～3時

※一時保育あり

小鴨保育園地域子育て支援センター

ところ：中河原551-1 (小鴨保育園内 TEL/FAX 28-2836)
開所時間：月～金曜日 午前9時30分～午後2時30分
※電話相談は、午前8時30分～午後5時
開催場所：(火・水・金)小鴨保育園
(月・木)小鴨児童センター(小鴨568-2)
※一時保育あり

関金保育園地域子育て支援センター

ところ：関金町関金宿2830-2 (関金保育園内 TEL/FAX 45-2853)
開所時間：月～金曜日 午前9時30分～午後2時30分
※一時保育あり

※いずれのセンターも原則、予約不要、利用料無料です(内容によっては実費程度をいただく場合があります)。また、祝日に当たる場合は、開所しません。
※一時保育は、利用料がかかります。
※いずれのセンターにも、駐車場があります。



親子で楽しむリズム遊び

歌あり、ピアノの連弾ありで、親子で楽しめるリズム遊びをします。音楽の楽しさや、身体を動かす心地よさを親子で一緒に味わい、たくさん遊びましょう。

とき：12月15日(水)午前10時30分～11時30分

ところ：子育て総合支援センター「おひさま」

対象：未就学児の子どもと保護者(30組程度)

講師：吉田 倫子さん、福田 裕子さん

申込期限：12月11日(土)

問：子育て総合支援センター「おひさま」(TEL/FAX 22-3914)



▲「イクメン」もいっぱい



◀11月10日(水)、赤ちゃんと小・中学生の交流「おひさまふれあい会」の終了後にパチリ。

左から、まおちゃん、ねいろちゃん、りおちゃん。

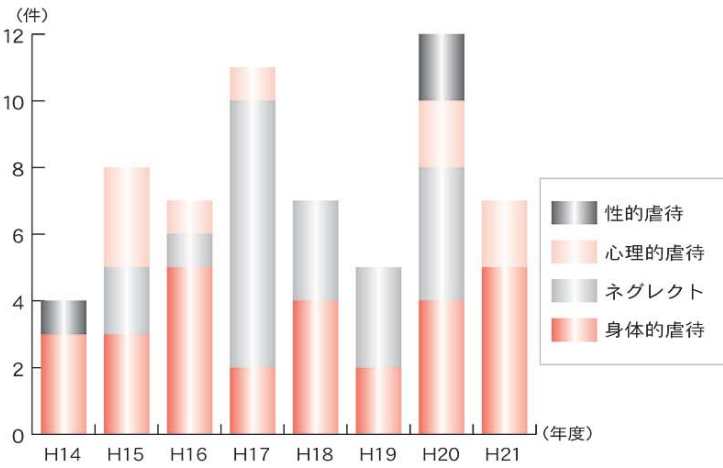
まおちゃんのお母さんの細川 梢さん(下余戸)は、よく子育て総合支援センター「おひさま」を利用するそう。「家で2人きりだと、よくむずかるのですが、「おひさま」に来ると、人がたくさんいて楽しいのか機嫌がよくなるんです」

「この交流会は、小・中学生にとって自分を見つめ直す機会となるだけでなく、赤ちゃんの親にとっても、とても意義深いものです。自分の赤ちゃんが「可愛い」と言われることは、自分の子育てを肯定されることであり、自信につながっています」(子ども家庭課 塚根課長)

親は頑張っている。でも、やっぱり気になる…。「虐待」では？

通報することをおためらわないで！

最優先されるべきは、今、虐待されている子どもを一刻も早く救い出すこと。



倉吉児童相談所 児童虐待の内容別相談件数(倉吉市分)

【性的虐待】

を著しく怠ること。

【ネグレクト(養育放棄・怠慢)】

子どもの健康・安全に配慮しない、衣食住の世話をしないなど、保護者としての養育

【身体的虐待】

子どもの身体に、苦痛や外傷が生じるような暴行を加えること。

「児童虐待」って何だろう

児童虐待は、子どもの心身の成長や人格の形成に深刻な影響を与えるだけでなく、次の世代に引き継がれるおそれもあります。

「近所から毎晩子どもの泣き声が聞こえてくる…。もしかして、「虐待」では？」
そう思ったなら、迷わず通報してください。

最優先されるべきは、今、虐待されている子どもを一刻も早く救い出すことなのです。

【心理的虐待】

子どもにわいせつな行為をする、させること。
子どもの心を著しく傷つけること。

「虐待」と「しつけ」ってどう違うの

しつけとは、基本的な生活習慣や社会のルール・マナーなど、生きていくために必要なことを、子ども自身が理解し身につけられるよう、繰り返し働きかけることです。

暴力・暴言で子どもを追い詰め、保護者に従わせることではありません。

こんなサインに気づいてください

子どもたちの何気ない行動や態度から、助けてという「小さなサイン」を受け止めてください。

【子どもの行動や状況】

理由もなく、連絡もしない

で保育所、幼稚園、学校をよく休む。

髪の毛、顔、手足が不潔でおいがする。

季節に合わない衣服や不潔な衣服を身につけている。

身体に不自然な外傷、あざ、やけどなどがみられる。

服装において、ほかの兄弟姉妹と極端な差異がある。

特に病気ではないのに、身体的発達が著しく遅れている。

【保護者・養育者の行動や状況】

大声で、怒鳴ったり、叱ることがあり、たたく音や叫び声がする。

地域や親族との交流がなく、孤立している。

しつけと言いつて殴る、けるといった行為がみられる

子どもがケガや病気になっても、医者に診せようとしていない。

【妊産や出産を喜んでいないなど

子ども家庭課から message



【保護者の皆さんへ】

子育ては思うようにはいかないものですし、楽しいことばかりではありません。

さまざま不安や悩みをひとりで抱え込んでいたらストレスは膨らむばかりです。

そのストレスを子どもにもぶつけてしまう前に、思いきってSOSを出しましょう。

決してあなたばかりではありません。

【地域のみさんへ】

虐待は、「ごく普通」の家庭でもしかしたら、あなたの身近なところで起きているかもしれません。ぜひ、地域の中で子どもたちを見守ってください。

朝の「おはよう」、夕方の「お帰り」など、ちょっとした一声が大切です。

また、何か気になることがあったら、そのままにしないで相談してください。

あなたのその行動が、子どもを、そして保護者を救う「はじめの一步」になります。



取材を終えて

「ほかの子と比べると、発育が遅れているような気がして、自分の育児が間違っているのではないかと思いついてしまいい、外に出るのが怖い」「親や夫は、不安や悩みを話しても、真剣に聞いてくれない」。今回、取材を通して、子育て中の親からさまざまな話を聞きました。思い通りにいかない子育てと孤立感から、次から次へとわき上がってくる不安や悩み。

昔と比べて何かと便利になった現代は、子育ても楽になったのかもしれない。けれども、時代の変化とともに子育ての仕方は変わり、新たな悩みも生まれています。やはり子育てに悩みは尽きないのです。一方、子どもに声をかけただけで不審者と間違えられてしまうような今の世の中、地域の人のとって、近所とはいえ、若い世帯にはなかなか気軽に声をかけることもできないのが現状です。

そんなお互いがつくる見えない「ためらい」の壁が、子育ての孤立化に拍車をかけているのではないのでしょうか。インターネットの掲示板に、子育てに悩み、思いつめていた母親のこんな書き込みがありました。

「...子どもの手を握り締め、行きかう車を見つめながら、飛び込もうかと思っていた時です。通りすがりのビジネスマンが、「おっ、可愛いな！」と言ってくれたんです。全くの気づ知らず、あまり子育てにも参加できてそうにない、忙しそうな男性が、息子を可愛いと言ってくれた。私の子どもは、他人様から見ても可愛いんだ、じゃあ、もう少し生きてても良いかもしれないと思えました。あのつらかった日々、何人もの通りすがりの方が、息子を可愛いと言ってくれました。情けない母親のために、神様が、降りてきてくださったのかもかもしれません」

子どもの表情やしぐさを見ると思わず微笑んだり、「可愛いね」と言ってしまう。それは、親にとっても見失いがちな自信を取り戻す、嬉しいプレゼントなのです。

「おっ、可愛いな！」って、口に出してみませんか。そして、今、一人で子育てに悩んでいるお父さん、お母さん。子どもを産み、育てることは、それだけです。このことです。だから悩んだり不安になるのは当たり前のことなのです。そんなときは、どうか、周りを頼ってください。私たちは、いつでもあなたのサポートをする準備ができています。お子さんのためだけでなく、あなたが少しでも楽しい気持ちになれるよう、一緒に解決方法を考えましょう。

「子育ては楽しい」と、親だけでなく、社会全体が心から思うことができる、やさしいまちとなるために。



子育てに関するあらゆる相談窓口

悩みはあるけど、「なかなか家を空けることができない」、あるいは「人に会いたくない」と思ったら、電話で相談してください。悩むのは恥ずかしいことはありません。ひとりで悩まないで気軽に相談してください。

| | | | |
|------------------------|-----------------------------|-----------------------|-----------------|
| 子どもに関するあらゆる相談 | 家庭児童相談室(子ども家庭課内) | 月～金曜日:午前8時30分～午後5時15分 | ☎22-8120 |
| | 子育て総合支援センター「おひさま」 | 火～土曜日:午前9時30分～午後4時 | ☎22-3914 |
| 不登校に関する相談 | 学校教育課 | 月～金曜日:午前8時30分～午後5時15分 | ☎22-8166 |
| | 中部子ども支援センター | 月～金曜日:午前9時～午後5時 | ☎48-9177 |
| 妊娠・出産・子育てなど | 保健センター | 月～金曜日:午前8時30分～午後5時15分 | ☎26-5670 |
| 母子家庭のあらゆる相談(生活相談・DVなど) | 子ども家庭課 | 月～金曜日:午前8時30分～午後5時15分 | ☎22-8120 |
| 児童虐待の相談 | 倉吉児童相談所 | 月～金曜日:午前8時30分～午後5時15分 | ☎23-1141 |
| | 子ども家庭課 | (夜間休日:電話対応可) | ☎22-8120 |
| | CAPTA(キャプタ) 子ども虐待防止ネットワーク鳥取 | 月～金曜日:午前9時～午後6時 | ☎(0857) 21-4111 |
| 子どもの問題行動に関する相談 | ヤングテレホン(鳥取県警内) | 月～金曜日:午前8時30分～午後5時15分 | ☎(0857) 29-0808 |

※どこに相談すればよいのかわからないなど、子育てに関する相談、情報提供は、子ども家庭課が窓口となります。気軽にお尋ねください。